



尼崎市立武庫中学校

学校だより 平成28年2月号

校訓 友愛 正義 自主 創造 健康

<http://www.ama-net.ed.jp/school/J16/index.html>

## 「絶対にあきらめない」という姿勢が、最後の粘りにつながる！

校長 高橋 利浩

### 《生徒の皆さんへ》 頑張れ3年生！ 1・2年生は今から準備！

3年生は、私立願書出願(1月25日)が終わり、いよいよ受験本番を迎える時期に入りました。そして、2月10日(水)私立入試、2月14日(日)公立入試(2月受検)が始まります。

3年生の皆さんに、受験直前アドバイスとして2つ紹介します。

1つ目は、**規則正しい生活を送ること**です。夜型になっている人は、まず、朝型にリズムを変えること。そして、就寝時間、起床時間、学習時間などを決めた時間通りに毎日活動する事で良いリズムが生まれ、心身ともに健康な状態を保つことが出来ます。この体調管理が一番で、少しでも体調の悪い人は、思い切って体を休めることも大切だと思います。

2つ目は、**気持ちの勝負**です。入試直前は精神的にも不安になることがあります。その時に志望校に合格し、高校生活を送っている自分をイメージして下さい。また、自分がなぜその高校に入りたのかを明確にし、その気持ちを強く持てば、勉強もはかどります。

**最後は、どんなことにおいても必ずやり遂げるという信念、「絶対にあきらめない！」という姿勢が、最後の粘りにつながります。**

武庫中学校の3年生全員が、自分の希望した進路に進むことをイメージして祈っています。

1・2年生は、3年生の頑張っている姿を見て、自分の将来のために今から準備をしましょう。

### 《1.17を忘れない、避難訓練》 1月18日(月)

1月16日(金)に、南海地震が発生したという設定で避難訓練を実施しました。今年も育友会、ベビーメーソン・サカタ保育園(先生と園児)が参加しました。

今年で阪神・淡路大震災から21年がたちました。1995年(平成7年)1月17日午前5時46分、突然大きな



揺れに襲われ、震度7という強い揺れが続き、6434人の方が亡くなりました。尼崎市でも49名の方が亡くなりました。あらためて、ご冥福をお祈りしたいと思います。

尼崎市防災課が出している防災計画の中に、南海トラフ大地震がきたら尼崎市はどうなるか？

・津波到達時間 111分～117分、最高津波高さ3.7m～4m、市内の5分の1が水につかる

・武庫川が氾濫して、武庫之荘周辺は、1mはつかる。それ以下の所もある。(尼崎ハザードマップより)

また、津波のエネルギーは非常に大きく、1メートルの浸水高の津波で、木造建築は半壊、2メートルでは全壊とされ、津波の破壊力は、たとえ高さ30cmといえども、「乗用車が時速10kmの速さでぶつかって来る」衝撃と同程度であると言われています。

そこで、東日本大震災で被害にあった岩手県釜石市の話をします。釜石市では、3000人の小中学生がいました。生存率は99.8%で、ほとんどの子どもたちが、助かりました。これを「釜石の奇跡」と呼んでいます。釜石市の防災教育は、「自分の命は、自分で守る。」ということを目指し、津波避難3原則を作りました。(群馬大学大学院片田教授の防災教育論をもとに作成)

**・想定にとられるな ・最善をつくせ ・率先して避難者になれ**

子どもたちが、この3つのことを頭に入れて行動したことが被害を少なくしました。

君たちに望むのは、地震が起きた時、この「津波避難3原則」を頭に入れて行動して下さい。また、自分自身が避難するだけでなく、お年寄りや小さい子を避難させる方になってほしいと思います。



### 《サイエンス・トライやる事業》1月21日(水)

サイエンス・トライやる事業として、神戸親和女子大学髙本教授による授業が、武庫中学校2年生、4クラスで行われました。生徒たちは、地震のしくみと南海トラフ大地震を勉強して、「尼崎が大津波に襲われて被害を受ける可能性を考えました。また、市教委から後藤指導主事も来られました。

内容は、以下の3つでした。

「地震と津波のメカニズム」

「南海トラフの巨大地震と阪神大震災」

「防災・減災教育」



### 《小学校部活動体験》 1月27日(水)

武庫中学校校区の6年生児童(武庫小学校、武庫の里小学校、武庫南小学校)が部活動体験をしました。運動場では、野球部・陸上部、体育館では、女子バレーボール部・男女バスケットボール部、格技室では柔道部、校内では、吹奏楽部・美術部・放送部・書道部に分かれて体験活動を行いました。

